



平成 30 年 5 月 18 日

各 位

会 社 名 日 水 製 薬 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 小野 徳哉
(コード番号 4 5 5 0 東証第 1 部)
問 合 せ 先 取締役執行役員 谷津 精一
(TEL. 0 3 - 5 8 4 6 - 5 6 1 1)

セルジェンテック株式会社の第三者割当増資引受並びに新株予約権の取得に関する お知らせ

当社は、平成 30 年 5 月 18 日開催の取締役会において、国立大学法人千葉大学発バイオベンチャー「セルジェンテック株式会社」(本社：千葉県千葉市、代表取締役：麻生 雅是、以下「セルジェンテック社」)が実施する第三者割当増資の引受、並びに新株予約権の取得を行うことを決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 契約締結の理由

セルジェンテック社は、千葉大学大学院医学研究院および千葉大学医学部附属病院未来開拓センターと共同で、脂肪細胞を用いた遺伝子治療用細胞医薬品を臨床応用すべく研究を進めております。現在、再生医療等安全性確保法のもと、家族性 LCAT 欠損症(※)を対象とした第一種再生医療臨床研究の実施計画について承認を受け、臨床研究を実施中であります。さらに本技術を利用して、血友病、ライソゾーム病などの遺伝子疾患に伴う欠損した酵素の補充や糖尿病のインスリン補充への応用研究も進めております。当社はその検討における細胞医薬品の製造技術などについて、セルジェンテック社と共同研究を行っております。

当社は、長年に渡って組織培養培地の研究開発を手がけており、また、当社が販売している細胞等のマイコプラズマ感染の有無を迅速に評価できる遺伝子検査キット(MycoFinder)は、細胞の安全性を迅速に評価できるツールとして、現在多くの施設で利用されております。当社が長年の研究開発で培ってきた、再生医療用組織培地に関する技術、検査薬・体外診断用医薬品に関する技術、および再生医療用培地製造工場などを活用し、再生医療支援技術開発への取り組みを加速するとともに、今回のセルジェンテック社への出資を通じ、再生医療の実用化進展に貢献してまいります。

2. セルジェンテック社について

(1) 会社名	セルジェンテック株式会社
(2) 事業内容	細胞治療、遺伝子疾患等の医薬品に関する研究開発・製造・販売
(3) 設立年月日	平成 15 年 10 月 20 日

(4) 本社所在地	千葉市中央区亥鼻一丁目8番15号
(5) 代表者	代表取締役 麻生 雅是
(6) 資本金	3,500万円
(7) 上場会社と当該会社との関係	
資本関係	当社は当該会社の株式715株を保有しております。
人的関係	当社執行役員1名が当該会社の社外取締役を兼任しております。
取引関係	当社と当該会社は、平成26年12月12日に投資契約および共同研究契約を締結しております。

3. 第三者割当増資引受の方法

セルジェンテック社が実施する第三者割当増資により発行する株式(6,700株)のうち、2,917株を当社が引受けます。

4. 取得株式の概要

(1) 異動前の所有株式数	715株 (所有割合4.7%)
(2) 引受株式数	2,917株 (所有割合13.2%) (注1)
(3) 引受金額	350,040千円
(4) 発行価額	120,000円
(5) 異動後の所有株式数	3,632株 (所有割合16.5%) (注1)
(4) 契約締結日	平成30年5月30日(予定)
(5) 払込期日	平成30年5月31日(予定)

(注1) 第三者割当増資に対する申込みが全て行われた場合の発行済株式総数(22,050株)に対する比率であります。

5. 取得新株予約権の概要

(1) 新株予約権数	6,600個
(2) 新株予約権の目的である株式の数	6,600株
(3) 行使価格	120,000円
(4) 割当日	平成30年5月30日(予定)
(5) 権利行使期間	平成30年6月1日から平成31年12月31日
(6) 新株予約権を行使した場合の所有株式数	10,232株 (注2)

(注2) 当社が本新株予約権を全部行使した場合、行使後の所有株式総数は10,232株となり、想定される発行済株式総数(28,650株)に対し所有割合は35.7%となる見込みです。

6. 今後の見通し

本件による平成31年3月期の業績に与える影響は軽微と想定しておりますが、中長期的に企業価値向上に寄与するものと考えております。今後、業績への影響が判明した場合には、速やかに情報開示を行います。

※家族性LCAT欠損症

単一遺伝子 (*LCAT* 遺伝子) の異常による先天性疾患。LCAT 蛋白欠損により、高比重リポ蛋白 (HDL) コレステロールの極端な低下をきたす。組成の変化した異常リポタンパクが角膜・骨髄・肝・脾・腎糸球体基底膜などの組織に沈着し、角膜混濁、溶血性貧血、腎機能低下などの症状を呈する。

以上